

本気野菜 ゴーヤの育て方

①土づくり&植え付け:

当たりが良く、できるだけウリ科を連作していない場所を選びましょう。

植えつけ2〜3週間前堆肥2kg/m²、苦土石灰100g/m²を混ぜ、よく耕して土づくりをしておきます

【植えつけ1週間前】配合肥料[8-8-8]など100g/m²を混ぜ込み、幅約60cm、高さ20cmほどの畝を作り、マルチフィルムを張って下さい。

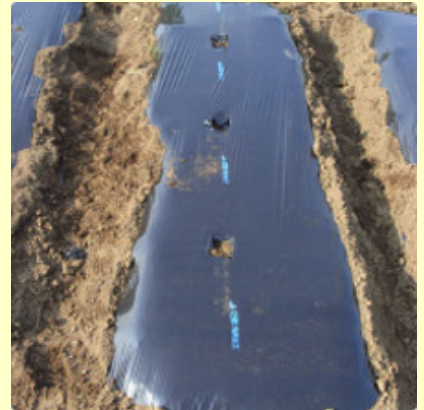
マルチフィルムを張ることで、雑草や泥ハネを防ぎ、病気にかかりにくくなります。

【畑の場合】日当たりがよく、できるだけウリ科を連作していない場所を選びます。植えつけ2〜3週間前に、堆肥2kg/m²、苦土石灰100g/m²を混ぜ、よく耕して土作りをします。有機石灰(牡蠣殻など)を使うと混ぜ込んですぐに苗を植えつけることができます。

植え付け1週間前に配合肥料[8-8-8]など100g/m²を混ぜ込み、幅約60cm、高さ20cmほどの畝を作ってマルチフィルムを張って下さい。マルチフィルムを張ることで雑草や泥ハネを防ぎ、病気にかかりにくくなります。

株間50cm以上で植えつけます。植え込み直後は風で折れたりしないよう、株元の茎を仮支柱に結わえておきます。大きく生長してきたら、2mほどの支柱を立て、伸びてくる「つる」がからみ易いよう、紐やネットを張って備えておきます。つるはぐんぐん伸びるので、1週間に1度は支柱などに麻紐で誘引して茎葉が折れないようにしましょう。

【コンテナ・プランターの場合】土の容量が15L以上の容器(10〜15号程度の深鉢)に1株植えとします。できれば新しい野菜用土をご用意ください。元肥は控えめにしておきます。日当たりの良い場所に置きましょう。



②水やり:

暑くなるにつれ、生長速度が増します。特にコンテナ栽培は乾燥しやすいので、水切れさせないように萎れてきたらしっかり水を与えましょう。

③追肥:

肥料を多く好む野菜です。花が咲き始めたら1回目の追肥をします。その後、2週間に1回を目安に追肥をしていきましょう。コンテナ栽培の場合、毎日の水やりを薄めた液肥にしてもいいでしょう。

④整枝:

定植後、最初に伸びる主枝が1.5m程になったら、親づるを摘芯し、子づるを伸ばすと着果しやすくなります。「デリシャスゴーヤ」の場合、あまり若いうちに収穫すると苦味が強いことがあります。



↑完熟すると黄色くなり、果実が弾けます。

⑤収穫:

栽培環境にもよりますが、果長が27〜30cmになった頃が収穫適期です。



●その他ポイント: デリシャスゴーヤは初めに雄花をたくさん咲かせます。夏至を過ぎた頃から雌花が咲き始めます。どうしても雌花が見つからないときは、一番よく咲いているツルを摘芯すると、伸びたわき芽から雌花が出やすくなります。